

平成 22 年度事業報告書

応用情報学に関する学術、技術の研究開発を推進し、かつ研究開発の成果の公開と人材の育成を図り、もって宮城県の産業の振興発展と県民の福祉の向上に寄与することを目的として、平成 22 年度は下記の事業を行った。

1．ICT 利活用による地域農業活性化実証試験への支援

当該研究の枠組みで、総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)地域 ICT 振興型研究開発「ユビキタス農業に資するコンテンツ収集・利活用に関する実践的基盤技術研究開発」を実施した。具体的には、研究課題「利用性の高い知的コンテンツ獲得インフラ技術の開発」に関し、農業記録やノウハウ等の知識コンテンツサービスを提供するための農業分野における「現場の記録（生データ）」を蓄積するためのインフラを実現した。

2．ICT・医療セミナーの開催（2011 年 2 月 23 日）

元気な日本、活力ある仙台を目指し、「次代を支えるクラウド技術から医療情報化でビジネスチャンスをつかめ」と題して、ICT・医療セミナーを公立大学法人宮城大学と共同開催した。クラウドに代表される新 ICT 技術や最新の医療情報化の最新動向を共有し、ビジネスチャンスあるいは地域医療連携の促進に活かす事をセミナーの開催趣旨とした。講演 8 件、一般参加者 134 名。

3．フォトリック結晶技術の研究開発

総務省の委託事業のフォローを行い、フォトリック結晶の基礎及び応用技術についての技術基盤の確立が進んでいる

4．応用情報学に関する勝れた研究・論文に対する顕彰

応用情報学分野の研究者を育成する事業の一環として行った。

（社）情報処理学会と連携し、次の顕彰を行った。

- ・情報処理学会東北支部大会の優秀論文の顕彰
- ・情報処理学会 DPS 研究会（マルチメディア通信と分散処理研究会）優秀ソフトウェア作品の顕彰

5．その他研究活動への支援

直接的あるいは間接的に公益に寄与するという認識のもとに、当財団の役員、研究員による以下の研究活動等への支援を引き続き行った。

- ・ソフト系 ICT 分野における地域活動の支援

ソフト系 ICT 分野における地域活動の支援を行った。特に本年度も昨年度に引き続き、地域の産学連携組織について事務局等の支援を行った。

[収益事業]

- ・米沢市立病院 I C T 人材育成業務（総務省 ICT 人材育成業務）

医療の情報化，地域医療連携の重要性が指摘される中，米沢市立病院が山形県置賜地区の中核病院（地域医療支援病院）として地域に貢献すると同時に，将来的に地域医療連携をリードしていく医療機関としてそのあり方と将来性を構想し，推進していける人材を育成した。

[その他事業]

- ・「学会会」事業の推進

平成 22 年度は若手研究者に対する奨学助成を行なった。

また異方性材料を含む光デバイスのシミュレーションソフトウェアの作成を開始した。